

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名	楽学喜サポートanemonemihama
------	----------------------

公表日 令和 7年 5月 30日

利用児童数 14名 回収数 10名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1			スタッフの皆さんの人数が増えたと、余裕ができてスタッフも休みやすくなると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			2	支援プログラムというものを確認してみたいと思います。	ホームページに記載している旨を周知していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			2	ガイドラインを把握していませんでした。	ガイドライン案内をし保護者へも周知をしています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	1		子どもが公園などへ外出した時に他の子どもたちと友達になったと話していた。/多分なかったと思います。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10				親と同じくらい理解してくれていて心強い。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10				相談もしやすいし、親身になって応じてくれる。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2			他の保護者さんと交流する機会がもう少しあったらいいと思う。	ゆんたく会の機会をもう少し設けたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10				特に苦情と思うことを感じることはない。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1				
非常時 等の 対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	3				法人で委員会を設け定期的な開催を行います。保護者の方にも周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
満足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10				第2の家庭といってもよいくらいリラックスした状態で活動できている。/アネモネへの通所を楽しみにしています。/毎回楽しく通っています。/とても楽しみにしていて、利用日数が足らず調整の為お休みする際混乱する。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				大変満足している。/親も子も適切に見守ってくれてとても満足しています。ありがとうございます。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 5月 30日				
環境・体制整備		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に直し、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	トイシは建物の構造上、バリアフリーにはなっていないが、台を準備することでできるだけ使いやすいように工夫している。	生活空間は分かりやすい環境になっていると感しているが、バリアフリーは無いので既製品で代用できるようにしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
業務改善	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	8		朝のミーティング、週に一回は職員会議をしてきるだけ多くの職員が参加できるようにしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		回覧し場で振り返り設けている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		評価委員を設けてはいるが、会をもってはいない現状があるので検討していきたい
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		標準化ツールでの活用ではなく行動観察で状況確認していることが多い
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		様々な意見を共有しながら、児童の状況とを合わせて考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	2		ガイドラインの読み合わせを行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		担当者会議、モニタリングを通して連携しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	放学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		モニタリング会議を通して情報共有しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4		放デイから障害福祉サービス事業所へ移行する児童の利用がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		他児の児童に関する研修を受け、センターのアドバイスを受けているが、施設が把握していないので周知していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	児童館を利用する際は職員の方や他の利用者を挨拶をしたりお話をしたりする。	午前中は児童館を利用できているが、午後は公園へ行っています。児童館併と遊楽し活動したいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		機会をみて参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		これからも保護者への研修があればお知らせしていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の最優先の観点を読まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を創出する等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		ゆんたく会の実施	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	6	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		食物アレルギーを持っている児童の利用が無い為、今は行っていない。/対象児童がない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3		作成はされているが、どういった内容の計画があるのか把握できていないため、情報共有を続けていく必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	5		事前に確認し共有しているかは把握していない。情報共有をしていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			これから保護者に了承を得て記載する。/これから保護者に十分に説明し、全員の保護者に了解を得て承認をもらう予定。/施設は対象位置なし。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	楽学喜サポートanemonemihama			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 15日		～	令和 7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	10名
○従業員評価実施期間	令和 7年 3月 15日		～	令和 7年 4月 30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 5月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用定員や子どもの状況に対して、職員の配置数は適切になされているか。	・法人会社とシフト調整、ヘルプ態勢の連携が行えている。 ・その日の児童の状況確認を職員間で連携してる。	・更に会社と連携する意識を強めていくようにする ・児童の状況把握、動態を連携していきます。
2	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜に合わせてしえんが行われているか	・季節（天気）、休日、長期休業、年間に合わせた活動、特に五感を感じ味わえる設定をどう取り入れていくか皆で話し合い組み立てている	・地域の行事にも目を向けていく、経験の中で育てていく意識を持つ
3	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	・日々の活動を引継ぎの際又は、写真やLINEを通じて保護者と共有することで共通理解に繋がっている。 ・モニタリング等で写真、書面にて報告する事で課題に対しての振り返りを行い、職員で共通理解に繋げていく。	親子プログラム等の中で児童の成長、状況を見てもらう機会を設けていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応、マニュアルについて家族への周知が出来ていない	・対策委員会を設け、5月より会を開催している為、保護者の方へ周知不足であった	・訓練をした際にはお手紙にしたり、保護者にはLINEを活用し周知の必要性がある
2	・支援プログラムの作成、保護者への周知について	・作成はしているが、保護者に対し周知不足であった	・ホームページに掲載している事を保護者に案内をかけるようにし内容等、周知していくようにする
3	・地域の児童館のや、活動の場で地域の子と交流するばの活用方法について	・午前中は児童館の活用しているが、午後は公園などの活動になり地域のこと遊ぶ場になっている	・児童館や地域の方、公共の場の使用の際連携して計画的に行うようにしていく